

しどろり

仁淀川町
広報

1 2008年
月号 No.30



12月4日、年の暮れ恒例のもちつきがせいらん荘で行われました

新

謹

年

賀

主な 内容

- 2・3.....新春特集・大学生とともに
- 4.....別枝地域と下名野川地域が交流
- 5.....伝統の舞 安居神楽
- 7.....仁淀中学校が環境美化優良
表彰などを受賞
- 8.....民生委員・児童委員が改選
- 12.....てくてく山紀行 椿山

夢・魅力ある地域づくりを目指して

自分たちの住んでいる地域を見つめ直し、魅力あるものを再発見して活性化につなげていこうと取り組んでいる地域が、町内でも増えてきました。今回はそんな中から、大学生とともに地域づくりに取り組んでいる三つの地域をご紹介します。

高知大生とお宝探しへ長者地域へ

長者地域（西森直隆地域長）では「美しい夢づくり計画」と題して、地域を魅力あるものにして、住民が生き生きと暮らしていけるように、高知大学人文学部の学生たちと話し合いを進めています。

昨年九月には住民と学生たちが地域内を歩き、良い景色や珍しいもの、大切にしたいものなどの「お宝」を探し、十一月にはみんなで探した「お宝」を、今後どのように活用していくか、将来の「夢」を語りました。

このような取り組みの成果として、十二月二十四日には長者の棚田で「長者DEキャンドルナイト」というイベントが行われ、二千七個のキャンドルが棚田を彩り、訪れた人々を魅了しました。

地域では、今後も大学生とともに「長者の夢づくり」を続けていきます。



棚田に2,007個のキャンドルが灯された長者DEキャンドルナイト(12月24日・長者古城山)



お宝を地図上に書き込む作業(九月二十九日・長者出張所)

新春特集・大学生とともに <<<

高知女子大生からパワーもらう 〈森山女性なんでもクラブ〉

森山女性なんでもクラブ（山下幸恵代表）は、昨年お茶の研究のために町で宿泊研修を行っていた高知女子大学生生活デザイン学科の学生との懇談会をきっかけに、同大学生との交流を深めています。

懇談会で同クラブの作ったヨモギや緑茶のまんじゅうを食べた学生たちは、絶賛するとともに、このまんじゅうや仁淀川のお茶をたぐさんの人に知ってもらおうと、十一月三日に高知市帯屋町で学生たちが開催したストリートファッションショーで専用テントを用意し宣伝してくれました。

また、十一月二十九日には、スウェーデンの留学生とともに森山を訪れ、まんじゅう作りに挑戦しました。クラブの会員は「孫が帰ってきたようだ」「学生からパワーをもらえてありがたい」と満面の笑みで学生たちとの交流を楽しんでいました。

学生との交流のきっかけとなった懇談会
(9月26日・観光センター) →

ヨモギまんじゅうを作って交流を深めました
(11月29日・森山集会所) ↓



愛媛大生と焼畑を復活 〈山おこしの会〉

焼畑という伝統文化を守り続けている「焼畑による山おこしの会（奥田英雄会長代行）」の活動には愛媛大学の学生が参加しています。昨年五月に学生たちも火入れした用居地区の畑では、ソバやアワ、里芋などが収穫され、十二月九日、「用居集いの館」で山おこしの会と学生たち約二十人が収穫祭を行いました。学生たちはソバの実を石臼で挽き、ソバ粉を作りソバ打ちを体験したり、猪鍋やおもちなど地元食材を使った料理を食べたりして、収穫の喜びを味わっていました。



ソバの実を挽く学生たち (12月9日・用居集いの館)

別枝地域と下名野川地域が交流

十一月二十九日、本年度、別枝地域で地域おこしに取り組んでいるグループが、山村自然薬校「しもなの郷」で視察研修を行いました。

宿泊型自然体験施設の「しもなの郷」は、廃校となった下名野川小学校の活用を、地域の住民が自ら考え力を合わせて取り組んできた成果であり、平成十七年四月の開設以来、県内外から大勢の宿泊客が訪れるほか、地域住民の交流の場として利用されています。別枝地域でも座談会を



地域の活性化を目指して



秋葉まつりの太刀踊りも飛び出した交流会

行うなどして、地域の活性化を図ろうとしていることから、今回の視察研修となりました。

しもなの郷運営委員会の中西二三会長から施設の概要、運営管理などについて説明を受けた別枝地域の方々は、地元住民の「しもなの郷」に対する熱意、地域づくりに対する姿勢に感心していました。研修終了後は「しもなの郷」の皆さんが作った田舎料理を囲み、にぎやかな交流会となりました。

東ティモール行政官が町内で棚田などを視察

東ティモール国のかんがい技術行政官ら四人が、12月3日、町内の小学校や棚田、高瀬地区の排水トンネルなどで研修を行いました。

東ティモールでは、農業振興の柱でもある、かんがい事業の推進が急務であることから、日本におけるかんがい行政・施設・水利組織の実例を学ぼうと訪れたものです。

一行は、町役場を訪問した後、別府小学校で交流会を行いました。続いて長者地区の棚田で、高瀬農地保全事業所の吾郷秀雄所長から水管理の方法や稲刈りの方法などについて説明を受けました。最後に高瀬地区の排水トンネルを見学し研修を終了しました。



役場を訪問した行政官ら

町内から最優秀賞3点

県茶品評会

☆最優秀賞

農林水産大臣賞・高知県茶業振興会長賞

池川茶業研究会

高知県知事賞・高知県茶業振興会長賞

池川茶業組合

社団法人日本茶業中央

会長賞・高知県茶業振興

会長賞

J A コスモス仁淀支所

第二茶工場太田地区婦

人部

関西茶業協議会長賞・

高知県茶業振興会長賞

J A コスモス佐川支所

緑茶工場

十一月二十一日、高知市において開催された高知県茶業者大会の席上で、第四十五回高知県茶品評会受賞者の表彰式が行われました。県内百七点の出品の中から選ばれた、栄えある最優秀賞四点中三点を町内の生産者が受賞。優秀賞、優良賞においても多数受賞という、喜びにあふれる授賞式となりました。

表彰式



伝統の舞 安居神楽



山主の舞



長刀の舞



鬼神の舞

12月12日、熊野神社（宮ヶ平）で国の重要無形民俗文化財に指定されている安居神楽が奉納されました。

伝承では、旧吾北村の岡林家から伝授を受け、大屋地区の岡林家がこれを伝え、神楽組は古くから大屋・宮ヶ平集落で社職岡林家を中心に組織されていました。大正5年ごろ安居の神職安居宝定氏が伝授を受け、これらの舞人たちが保存伝承をしています。

神楽の奉納は、奇数年は熊野神社で、偶数年は八所河内神社（成川）で行われます。

十二月一日、仁淀芸能祭が仁淀多目的研修集会施設で開催されました。出演者約百人が和太鼓演奏や民踊、詩吟、カラオケ、沖縄三線などを次々と発表。日ごろから各サークルで重ねてきた練習の成果を堂々と披露し、大勢の観客を魅了しました。

また、ふたば保育園園児のかわいらしい踊りやハンドベルの演奏などもあり、会場からは大きな拍手が贈られていました。



息の合った踊りを披露

百人が舞台発表 仁淀芸能祭